

2 協議事項

(1) 自己肯定感を高めることのできる地域での取り組みについて

保健連絡員の赤ちゃん訪問など地域、関係機関で小牧の親子が自己肯定感を高められる取り組みについてご教示ください。

前回の母子保健推進協議会において委員の皆さまより、「人との関わりの中でかけてもらえる温かい“声かけ”によって保護者の自己肯定感が高められる」というご意見をいただきました。

それは、保健センターでは乳幼児健診等の場で保護者の自己肯定感を高める声かけができる機会があり、また各関係機関でも様々な場面で保護者や子どもに対する声かけができる機会があるということを再認識する事でもありました。

また、保護者や子どもを中心として見ると、各関係機関のみならず、つながりのある地域住民からの見守りや声かけの機会もあると考えられます。

そういった、みんなで見守り・声かけができる地域づくりを目的とし、平成 14 年 10 月から赤ちゃん訪問を開始しております。

赤ちゃん訪問が始まって 18 年が経過しますが、市民にあまり周知されてなかったり、開始当初と比べて世の中が便利になった半面、地域のつながりが持ちにくい社会となり、子育てにおいても孤立化しやすい環境にあります。

そんな今だからこそ、温かい見守り・声かけにより自己肯定感を高めてもらえる地域にしていけるよう、赤ちゃん訪問の取り組みを関係機関にもご理解いただき、地域においてもその趣旨に共感していただき、関係機関でも同じ趣旨で声掛けができるとよいと考えております。

